

1 田中 哲治 議員（創政会） 【一括】

(1) 池田市長の公約達成状況と今後の抱負について

- ・ 1点目、市長に就任され1年2ヶ月だが、この間の市民の声でつくる「チームさかい」の7つの政策については、昨年6月議会の代表質問でもしたが、この1年間の全体的な政策の達成状況やその取組は。また課題について問う。
- ・ 2点目、「「子育てするなら坂井市」を目指し、子育て支援のさらなる拡充を進めます。」について、第2期坂井市子ども・子育て支援事業計画の実施状況と課題、第3期計画策定に向けての考え方は。
- ・ 3点目、「日常生活での移動手段の確保と充実に努めます。」について、本年度よりオンデマンド型交通（乗り合いタクシー）が運行し、愛称も「イータク」となって利用者増につながることに期待するが、現状の事業成果と課題について問う。
- ・ 4点目、「元気に楽しく暮らす人生100年時代に向けて、つどいの場などの居場所づくりを支援します。」について、現況を問う。
- ・ 5点目、「郷土に対する誇りや愛着を高める「ふるさと教育」を推進します。」について、児童・生徒が地域の魅力を発信できる、人材育成の現状は。
- ・ 6点目、「市民から信頼され、役に立つ市役所づくり、明るく元気に前向きな職場づくりを進めます。」について、機構改革も進んでいるが成果と今後の考え方を問う。
- ・ 公約に掲げた「チームさかい」7つの政策33項目を基に、坂井市政をさらに発展させるための事業改革も不可欠と考えるが、7つの政策も含め今後の抱負を問う。

2 伊藤 宏実 議員（政友会） 【一問一答】

(1) 移動投票所の成果と課題について

- ・ 各投票箇所での利用者の状況。
- ・ 利用者の反応や意見など。
- ・ 不都合だった点、改善が必要と思われる点など、なかったか。
- ・ 場所や時間の設定など、適切だったか。
- ・ 選挙管理委員会としての総括は。
- ・ 今後の選挙において、引き続いて運用する予定なのか。

(2) アンテナショップについて

- ・ オープン後、約1ヶ月半となるが、商品の売上げ等、状況をお知らせ願いたい。
- ・ 利用者の反応や意見など。
- ・ 今後の運営にあたり、改善が必要と思われる点など、検討していることがあればお知らせ願いたい。

(3) 坂井市農業振興基金について

- ・ 公社解散により残余財産の受皿として基金を設置することになったのだと思うが、公社がこれまで果たしてきた役割、つまり規模拡大や効率化に寄与する農業の振興などは、現在は国、県、市が一体となって取り組んでいると思う。であれば、これ

までできなかった事業や取組を進めるために、設置される基金を活用すべきと考える。市としての考えを聞きたい。

- ・ 昨年の6月の一般質問でも指摘したが、中山間地で耕作放棄地を増やさないためにも、「続ける農業」を頑張っている小規模農家を支援してほしい。特に農業機械（中古も含めて）の更新時期に、「あきらめる」農家が少なくない。国の農業政策から取り残されたような気持ちになっている小規模な米農家が多い中、本市としてのきめ細かな農業支援を期待したいところだが、市としての考えを聞きたい。

3 鍋嶋 邦広 議員（創政会） 【一問一答】

(1) 来春の新幹線県内開業に向けての今年度中の受入れ準備計画について

- ・ タクシー事業者、運転代行業者の実態把握とオーバーツーリズム（地域住民と観光客によるタクシーの奪い合いをはじめ、地域住民の生活に悪影響を及ぼす状況）回避のための具体的な解決策は検討しているのか。
- ・ 宿泊業・飲食業事業者へ、夜の二次交通に関するヒアリング、実態把握は行っているか。
- ・ 二次交通の整備に向けた県や周辺市町（特にあわら市）との情報共有、連携、具体的な対策・検討は行っているか。
- ・ 小松空港及び芦原温泉駅からの利便性の高い二次交通の整備が必要と考えるが、本市の見解は。
- ・ 観光案内所の機能強化、観光・交通案内パンフレット、各種サイン関係、飲食店・お土産店等における多言語案内整備の準備状況はどうか。
- ・ インバウンド及び富裕層向け観光コンテンツの造成は、どこまで進んでいるか。ストレスフリーで快適に旅行ができる環境整備の準備状況はどうか。
- ・ W i - F i 環境の整備はどの程度進んでいるか。

4 伊藤 聖一 議員（創政会） 【一括】

(1) 水道料金改定と低所得者対策について

- ・ 改定率や改定時期は、検討委員会の答申どおりを考えているのか。
- ・ 検討委員会の付帯意見にもある創政会の要望事項の、負担緩和措置や低所得者対策はどのように考えているのか。
- ・ パブリックコメント資料にある、「安心・安全・安定」した水道水の供給や下水道の適切な維持管理への対応として、施設の更新・耐震化に10年間で147億円の費用が必要であり、更新事業を継続して実施するための料金改定であると説明している。これらのインフラ施設の計画的更新はトータルコスト削減の観点から、将来世代への負担軽減につながる重要な観点と考える。確かな老朽化対策の実行を求めるが、市長の所見はいかがか。

5 川畑 孝治 議員（政友会） 【一問一答】

(1) 嶺北縦貫道路交通渋滞対策を

- ・ 嶺北縦貫道路交通渋滞対策を行うべきでは。

(2) 社会教育について

- ・市内の社会教育団体について、どのように把握しているのか。
- ・社会教育団体の活動について今後の進め方をどのように考えるか。

6 後藤 寿和 議員（志政会） 【一問一答】

(1) 5類感染症への移行後の学校教育活動について

- ・これまで制限されてきた学校教育活動は、今後どのように戻していくのか。
- ・修学旅行などの学校行事はコロナ禍以前のような修学旅行に戻したのか。
- ・文部科学省は4月1日以降の新学期におけるマスクの着用の考え方について、「児童生徒及び教職員については、学校教育活動に当たって、マスクの着用を求めないことを基本とすること」と通知を出しているが本市の現状は。
- ・文部科学省は2022年11月に全国の教育委員会を通じて、給食時に「会話を行うことも可能」と通知が出ているが、本市の現状は。
- ・国立成育医療研究センターはコロナ禍の影響で子供の13%に抑うつ傾向が見られたとする調査結果を発表したが、本市の現状は。

(2) GREEN FLASH FESの総括

- ・GREEN FLASH FESの来客数は何人だったか。
- ・会場までのアクセスで、交通渋滞などの問題はでなかったか。
- ・来訪者は県外県内の割合は。
- ・会場に来た人の反響はどうだったか。またアンケート等は取ったのか。
- ・アーティスト側は芝政で行われたフェスの会場の雰囲気などをSNSで拡散していたが、実際に反響はどうだったか。
- ・イベント運営の中で課題はあったか。（例えば、ソフトバンク以外のキャリア端末はネットワークが混雑しており、電子決済が使えなかった等）
- ・フェス会場でお得な割引券を配布していた、三国カイモンカード勝手に応援団の利用促進につながったのか。また、経済効果はどの程度あったのか。
- ・あれだけのすばらしいステージでイベントが開催されたが、本年1回限りのイベントなのか、それとも来年に向けてどのように考えているのか。

7 山田 秀樹 議員（創政会） 【一括】

(1) 国際教育について

- ・子供たちへの国際教育について所見を求める。
- ・次代を担う国際性豊かな人材育成の今後の取組は。

(2) 雄島地区の火災消火用貯水について

- ・消火用水不足をどのように解決するのか。
- ・空き地が増えていく中、少しでも道路を見直せないか。
- ・最近では海水を利用した消火技術が進んでいる。海水を用いた消火作業の仕組みを構築してはどうか。

(3) GREEN FLASH FESについて

- ・経済効果はいかほどか。

- ・来場者の分析はできているか。その見解は。
- ・次回開催の予定や内容は。

(4) 新幹線福井開業に向けての機運醸成

- ・市民団体、学校、事業者、企業などが行う機運醸成活動や、観光誘客取組活動、地域経済活性化活動への支援は。
- ・機運醸成につながる看板、サインの設置について。

8 上坂 健司 議員（志政会） 【一括】

(1) こどもを核としたまちづくりについて

- ・こどもの学び・体験に資する市内公共施設について、豊かな人間性を培い、本市へ愛着心を持ってもらうため、高校生以下の利用料の無料化はどうか。
 - ① 現在、市内の文化、スポーツ施設を利用する場合に、料金などの減免制度を設けている施設はどれくらいあるのか。
 - ② 高校生以下をすべて無料とした場合、どれくらい利用料などが減収すると考えられるか。
- ・家庭での子育てについて、習い事に関する支援や地域での子供会の活動補助など教育支援はどうか。
- ・学校給食費や保育園給食費に対する負担軽減について、今後の短・中期的な道筋の見解はどうか。
- ・電車で高校に通学する生徒を対象に、定期購入費の半額を助成する「交通費片道無料制度」はどうか。
- ・こどもを核としたまちづくりに対する見解はどうか。また、仮称「こども未来応援都市宣言」・「子育て環境推進条例」はどうか。

(2) 地域サポート職員制度について

- ・次世代が楽しく豊かに暮らせるまちのために、行政と市民の協働・連携した多様な活動をつなぐ「地域サポート職員」制度の導入はどうか。

9 佐藤 岳之 議員（創政会） 【一括】

(1) 小中学校の体育館の空調（冷房）設備の設置について

- ・本市の小中学校における部活動を含めた熱中症の発生状況について伺う。
- ・本市の小中学校の空調（冷房）設備の設置状況を伺う。
- ・本市の小中学校は坂井市公共施設個別施設計画のもと、大規模改造工事が進んでいるが、体育館の空調（冷房）設備の設置計画はあるか伺う。
- ・子供たちの健康の観点から見た、本市の今後の小中学校の体育館等への空調（冷房）設備の取組について見解を伺う。
- ・災害発生時の避難拠点となる観点から見た、本市の今後の小中学校の体育館等への空調（冷房）設備の取組について見解を伺う。

(2) スポーツ振興に関する施設整備について

- ・丸岡体育館の移転先、機能拡充について、市としてどのように考えているのか。

10 前田 嘉彦 議員（創政会） 【一括】

- (1) 「誰にでもやさしいまちづくり」 高齢者、障がい者、子育てファミリーにやさしいまちづくり
- ・外出やけがなど一時的に車いすを必要とする高齢者や障がい者、病気療養されている方等に無料で貸し出す車いすの台数と配置状況は。
 - ・車いす貸出事業の周知方法と認知度は十分か。
 - ・車いす貸出事業の利用状況は。
 - ・車いす貸出事業を観光客にも展開できないか。
 - ・市内の公共施設や道路・歩道・商業施設など、車いすやベビーカー利用者によるモニター調査等を行ったことがあるか。
- (2) 「誰にでもやさしいまちづくり」 観光客にもやさしいまちづくり
- ・車いすを必要とする高齢者や障がい者、介添え者等の旅行者総数はどの程度と見込んでいるのか。
 - ・車いすに対応したタクシーやレンタカーの台数状況は十分か。
 - ・観光資源・地域資源強化事業では、高齢者や車いすの対応はどのように考えているのか。
 - ・市内宿泊施設での車いす等の対応可能な客室状況は十分か。
 - ・車いすを利用した高齢者や障がい者のモニターツアーを行い、より車いすや障がい者にやさしい観光地づくりを目指してはどうか。
- (3) 「誰にでもやさしいまちづくり」 誰にでもやさしい学校施設づくり
- ・昇降機を必要とする生徒さんや御家族（父兄・祖父母）の現状はどのように把握されているのか。
 - ・市内小中学校の昇降機の設置状況とけがなど臨時的な対応はどのように行っているのか。
 - ・大規模改修時における昇降機整備に対する考え方はどうしているのか。
 - ・インクルーシブ教育システムの構築及び災害時の避難所としての利用等の観点から、学校種や設置主体の別にかかわらず、学校施設のバリアフリー化を一層推進する必要があると考えるが、その対応についてはどのように考えているのか。

11 林 豊夏 議員（創政会） 【一問一答】

- (1) 投票率について
- ・本市の投票率の現状と推移はどうか。
 - ・移動投票所を設置したが、効果と今後の取組はどう考えているのか。
 - ・スーパーマーケットや商業施設に、投票所を設置している自治体もあるが、本市は考えていないのか。
 - ・投票について、学生への指導の現状はどうか。
 - ・本市にある各高校に期日前投票所を設置してみてもどうか。
 - ・学生が市政に興味を持つような方策は考えているのか。
- (2) ふるさと納税について
- ・今後の寄附額は年間いくらぐらいを目指していくのか。

- ・さらに伸ばしていくとするならば、どのような方策を考えているのか。
- ・一般財源により予算化しようとする事業の中にも、全国の方の応援する意欲をかき立てる事業もあると推察するが、「市長にお任せ」で寄附される金額を投入してもよいのではないか。

1 2 廣瀬 陽子 議員（創政会） 【一括】

(1) 文化財の保存活用について

- ・県内唯一の市の登録文化財制度を持つ本市であるが、どのようなものを登録文化財と考えているか。今後どのようなものを登録していくのか。
- ・市指定文化財と登録文化財の違いは。
- ・令和4年度に作成した坂井市文化財保存活用地域計画の地域のお宝の中から市の文化財として重点的に保護していく必要があると思うが、どのように考えているのか。
- ・文化財指定の状況には旧四町でバラツキがあるように感じるが、今後どのように統一していくのか。
- ・多くの人々が文化財に興味を持っていただくために、文化財の活用をどのように考えているか。
- ・文化財行政の関連として、図書館との連携で郷土資料（地域資料、研究資料、調査資料、視聴覚資料含む）の収集強化に努めることはできないか。
- ・文化財の収集保存に対する考え方は。また、貴重な文化財の散逸を防ぐ手だては。坂井市龍翔博物館とは別の新たな収蔵施設は考えられないか。

1 3 岡部 恭典 議員（創政会） 【一括】

(1) 人口減少と関係人口の活用について

- ・生産人口（25歳～64歳）が老人人口（65歳以上）と若年人口（24歳未満）を支えることになるが、現在の状況と30年後の予測を伺う。
- ・関係人口の活用は、地域の活性化につながると考える。本市における関係人口の実態と活用方法について伺う。また、虚人口を把握しているならば、その数値も併せて伺う。
- ・生産人口を増やす方策として、実人口と虚人口を加算することで生産人口を増やすことだと考える。本市で生まれ育ち、高校卒業まで本市で暮らし、大学進学、就職で県外に転出し、そのまま居住した特殊な技能や知識を持った人たち（虚人口）に年に数回本市に滞在し、得意とする分野で生産活動や遠隔での支援など協力を求めるようなシステムを構築してはどうか。その見解を伺う。

1 4 古屋 信二 議員（志政会） 【一問一答】

(1) 「ゼロカーボンシティ」の実現について

- ・2050年のカーボンニュートラルに向けて、現在の市内の温室効果ガスの総排出量はどれくらいか。
- ・第二次坂井市環境基本計画では本市の温室ガス総排出量の目標を令和12年までに768千トンとしている。県の削減目標に合わせて設定しているが見通しは。

- ・「坂井市脱炭素ロードマップ」とはどのようなものなのか。
- ・「坂井市脱炭素ロードマップ」の実現可能性を高めるための実施計画の着手の時期は。
- ・市長が考える実質ゼロとはどこから排出する二酸化炭素を減らし、どこで吸収分として相殺するのか。
- ・再生可能エネルギーにより削減した二酸化炭素の排出量相当分をクレジット化（排出権）し、企業などに販売して、収益を森の森林などに生かす「J-クレジット制度」の活用をすべきではないか。
- ・J-クレジットにおいて「水稻栽培による中干し期間の延長」が新たな方法論として承認された。これは農家にとって、新たな収入源にもつながることから市としての取組はどう考えるか。

15 畑野 麻美子 議員（日本共産党議員団） 【一括】

- （1）市職員採用候補者試験、自己アピール型の周知と拡充を
 - ・自己アピール型の試験は、会計年度職員にとっては、正採用へのチャンスである。市の広報紙ホットラインだけでなく、関係機関にも、幅広く通知をすべきでは。
 - ・自己アピール型で採用できる職種を、保育士や調理師やコミセン職員にも広げ、人材の確保をしてはどうか。
 - ・令和6年度の採用（自己アピール型）については、ぜひ、前向きな取組をしてはどうか。
- （2）個室利用時の差額ベッド料について
 - ・入院患者が大部屋を希望したが、満室の場合、個室を利用しても差額ベッド料は発生しない、という旨を住民に対し周知をしては。
- （3）ゼロカーボンシティに向け、具体的な取組が必要。0円ソーラーシステムなどの提案について
 - ・事業者対象のPPA方式、住宅向けの「0円ソーラー」そして、土地系としてソーラーシェアリングを提案する。

16 佐藤 寛治 議員（創政会） 【一括】

- （1）春江駅周辺整備事業計画について
 - ・春江駅周辺整備事業計画は市立地適正化計画に基づき、都市構造再編集中事業補助金を活用した事業か伺う。
 - ・春江駅周辺整備事業の事業実施期間及び総事業費は。
 - ・春江駅周辺整備事業計画の中でも中心となる、春江駅舎整備をどのように考えているか伺う。

17 三宅 小百合 議員（政友会） 【一括】

- （1）多世代が多目的に利用できるフリースペースの整備について
 - ・市内のフリースペースは何ヶ所あるか。
 - ・フリースペースの利用状況はどうか。

- ・既存の施設にプラスアルファの工夫で小さなフリースペースの設置を。

(2) 熱中症対策について

- ・熱中症から地域住民の生命を守るための取組はどのようにしているか。
- ・小中学校に冷水機を設置してはどうか。また、水筒の水分が不足した児童・生徒への対応は。
- ・高齢者の熱中症予防とエアコン利用控えについて、どのような対策を考えているか。

18 永井 純一 議員（公明党） 【一括】

(1) 坂井市の教育について

- ・本市の子供たちをどのように育てていくのかまた育てていきたいのか、教育が大切と思い積極的に学校訪問されている市長に考えを伺う。併せて、学校現場としてどのように考え具体的な取組を行っているのか教育長に伺う。
- ・環境等の変化により、「子供は社会全体で育てる」との考えが浸透しつつある。そこで、地域の集会所等を活用し地域の方々の協力をいただき、高齢者と子供たちが集い、触れ合う場所を整備してはどうか、見解を伺う。

(2) 学校給食費の完全無償化について

- ・現在、国でも学校給食費の無償化に向けて、地方自治体が実施できるよう地方財源の確保の議論が始まろうとしている。市長には、子供たちへの強い思い、「子育てするなら坂井市」を大きく前進させるために学校給食費の完全無償化をお願いしたい。市長の見解を伺う。

(3) パートナーシップ・ファミリーシップ制度の制定について

- ・パートナーシップ・ファミリーシップ制度の制定について、本市の考え、制定時期について再度伺う。

(4) 帯状疱疹ワクチン接種の助成について

- ・市民の健康、安心のために帯状疱疹ワクチン接種の助成を早急に実施することを再度求める。

(5) お悔やみコーナーの設置について

- ・お亡くなりになられた御家族の心や物理的な負担軽減と併せて職員の負担軽減のため、お悔やみコーナーの設置を再度求める。

19 松本 朗 議員（日本共産党議員団） 【一問一答】

(1) マイナ保険証の混乱と保険証廃止について

- ・市内医療機関におけるマイナ保険証による不具合、トラブルをどう把握しているか。トラブルケースごとに明らかにされたい。
- ・マイナンバーカード利用によるトラブルのケースは、把握されているか。明らかにされたい。
- ・市長は、マイナ保険証のトラブルの実態、原因が究明されるまで、運営を中止すべきと思考しないか。
- ・他市町で、マイナンバーカードの保有を条件とする施策が行われようとして、市民の批判で撤回するなどの事態がある。本市は、こうした施策を行わないと明言でき

るか。

(2) 空き家対策の前進のために

- ・ 条例により、一定の空き家を除却した場合の固定資産税に係る負担軽減措置をとること。
- ・ 除却すれば、除却費以上の売却益が出る見込みの住宅環境の空き家も少なくない。市として、不動産を紹介するなどし、より立ち入った支援を行うこと。
- ・ 空き家活用策の一つとして、結婚応援事業はあるが、さらに活用を広げるために、幅広く、住宅に困窮する人々に適切な住宅を供給する施策が必要。支援の対象を新婚のみでなく、ひとり親家庭、生活保護受給者、高齢者、貧困世帯向けシェアハウスなど検討すべきである。

(3) 水道責任引き取り制の見直し等で水道料金の引上げ方針を見直せ

- ・ 県は、水道事業の広域化を進めようとしている。本市にも打診があったのではないか。どう対応したか。また、検討委員会に報告したのか。
- ・ 県水は、責任水量制により水利権を本市が保有していると認識してもよいか。
- ・ 龍ヶ鼻ダムの発電は、本市の水利権の用水で発電しているとすると、本市の水利による発電貢献分を県に請求すべきでないか。
- ・ 責任水量を見直すことで、県としても水の処理費は減額される。市が地下水の供給を増加させたとしても、水質処理は、少額で済む。(地下水は、清廉であるため。)
- ・ 責任水量制を二部料金制に変更すべきでないか。責任水量は、当初(1987年)の契約時の計画給水人口と現在との人口との乖離が大きい。また、節水機能の家電の普及により、使用水量が低下している。二部料金制とは、県の固定費の部分(減価償却費、利息、人件費、修繕費等)と変動部分(動力費、薬品費等)に分け、変動費は、従量制とする。
- ・ 令和3年に策定した「坂井市国土強靱化地域計画」では、上下水道施設の耐震化が数値目標として掲げられている。これらは、政策的計画であり、一般会計から一定の繰入れを行うべき施策であると考えるが、いかがか。
- ・ 市長は昨年の12月議会で、責任水量制の見直しについて、県と協議を行うと表明したが、協議の結果はいかがか。